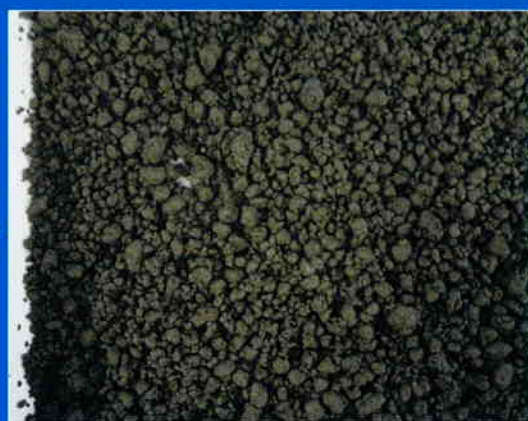
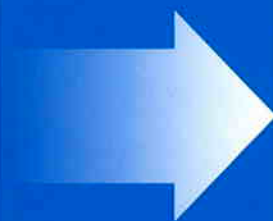


天然系ポリマーを主成分とし、環境にやさしい  
【軟弱泥土改良剤】

# RC-1



RC-1改良前



RC-1改良後

- ・ シールド掘削土、推進汚泥、連壁、杭工事発生土、浚渫土等の軟弱泥土を、ダンプ運搬可能な状態に改質します。
- ・ 固化材を併用することにより強度が得られます。

- ・流動性がありダンプで運搬ができない、野積みができない。
- ・敷地がせまく、乾燥場所が無い。

その様な場合は、

# 軟弱泥土改良剤 「RC-1」

にお任せ下さい。

## ●特 徴

- ・短時間で反応します。
- ・混練が容易で剥離性が良好です。
- ・振動しても泥状には戻りません。
- ・RC-1で改質後、固化材を併用することが可能です。
- ・含水比が150%以下の全ての泥土に対し、改質を行う事が出来ます。

(実際の改質状況は、室内配合試験にて確認する必要があります。)

## ●主成分

- ・天然系水溶性高分子
- ・カルシウム塩

## ●性 状

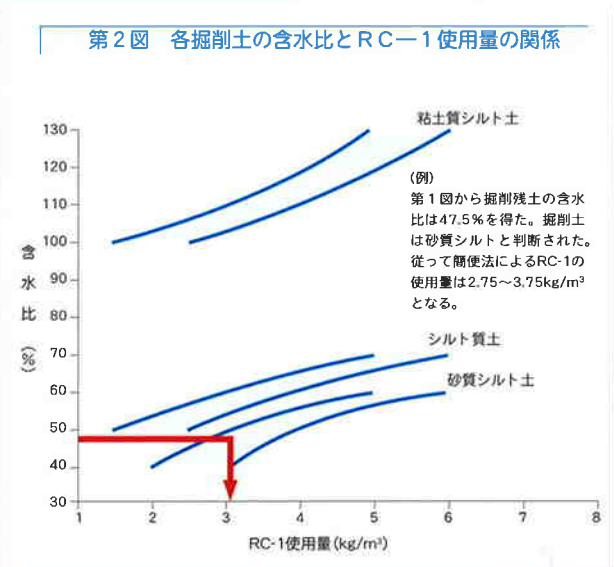
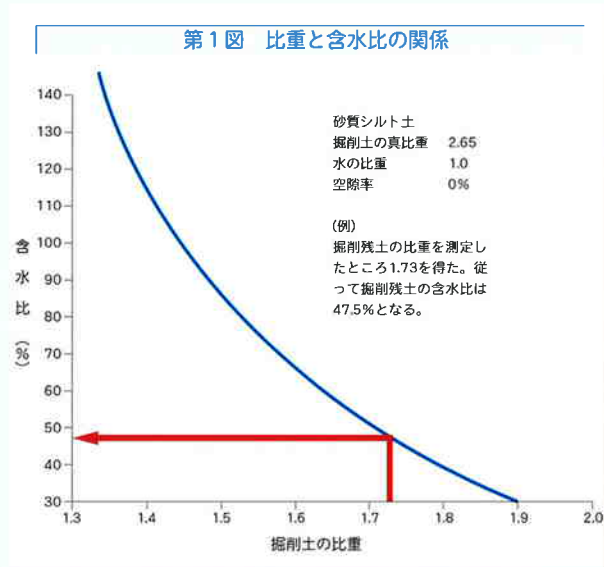
- ・外観 淡灰色粉末
- ・pH 7.5~8.5
- ・嵩比重 0.85~1.30 (軽層~重層)

## ●RC-1の添加量について

RC-1の添加量は、原土をサンプリングし、室内配合試験を実施して求めます。

但し、おおよそのRC-1添加量を求めたい時は、下記の図より推定することが出来ます。

第1図により掘削土の比重から含水比を求めます。得られた含水比から第2図により土質に対応するRC-1添加量を決定します。ここでは、例として残土の見かけ比重が1.73の、砂質シルトの場合について示します。





## ● 施工事例

- ・ 杭工事（アースドリル）と連続壁工事（SMW）の掘削土を混合
- ・ 含水比 100%
- ・ RC-1添加量 約3.0kg/m<sup>3</sup>



アースドリル



SMW

掘削土を混合



タンク内でRC-1を散布



攪拌



改良終了

年月	工事名	施工場所
平成10年 9月	橋梁工事	山形県
11年 5月	橋架設工事	山形県
12年10月	工場新築工事	広島県
13年 5月	中間処理場	宮城県
13年 6月	建設工事	広島県
13年 6月	共同溝工事	東京都
13年 7月	下水作業所	広島県
13年 7月	中間処理場	秋田県
13年 9月	橋梁工事	山形県
13年10月	シールド工事	茨城県
13年11月	建築工事	鳥取県
13年11月	工場新築工事	千葉県
13年12月	ビル新築工事	広島県
14年 1月	橋梁工事	山形県
15年 3月	トンネル工事	広島県
15年 9月	トンネル工事	滋賀県
16年 2月	トンネル工事	石川県
16年 2月	地盤改良工事	長野県
16年 3月	トンネル工事	静岡県
16年 4月	トンネル工事	滋賀県
16年10月	推進工事	山形県
16年10月	シールド工事	徳島県
16年11月	ボーリング工事	石川県
17年 2月	地盤改良工事	青森県
17年 4月	浚渫土処理工事	千葉県
17年 6月	残土処理工事	青森県
17年 7月	地盤改良工事	石川県
17年 8月	浚渫土処理工事	熊本県
17年12月	シールド工事	大阪府
18年 3月	連壁工事	大阪府

### 1. 応急措置

- ・吸入した場合は、十分にうがいをして下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水及び石鹸で洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は、多量の水で十分に洗浄した後、医師の診断を受けて下さい。
- ・多量に飲込んだ場合は嘔吐させ、医師の診断を受けて下さい。

### 2. 火災時の措置

- ・初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いて下さい。
- ・大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断して下さい。
- ・消火作業は、可能な限り風上から行って下さい。
- ・消火作業の際は、必ず保護具を着用して下さい。

### 3. 漏出時の措置

- ・漏出物を直接河川や下水に流さないで下さい。
- ・漏出したものは、掃除具等により掃き集めて紙袋またはドラム等に回収して下さい。
- ・除去した後、転倒防止の砂を撒いて下さい。水分を含むと粘性を帯び、床等が滑り易くなるため、おが屑、土砂、ウエス等で吸着させ取り除いた後、雑巾などで良く拭き取って下さい。

### 4. 取扱い及び保管上の注意

- ・ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等の保護具を着用して下さい。
- ・取扱い後は、手洗い、洗顔、うがい等を行って下さい。
- ・吸湿による製品固化の防止、製品のこぼれによる転倒防止に注意して下さい。
- ・容器破損（破袋）及び直射日光を避け、乾燥冷所に密封保管して下さい。

- 荷 姿
- 20kgクラフト袋
- 500kgフレコン袋



## 株式会社 テルナイト

#### ■本 社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目7番5号  
TEL 03 (3377) 9321 (代)  
FAX 03 (3320) 8961

#### ■東京技術センター

〒342-0045 埼玉県吉川市木売3丁目6番  
□営業技術部  
TEL 048 (983) 3481 FAX 048 (984) 1851  
□技術研究所  
TEL 048 (983) 3482 FAX 048 (984) 1851

#### ■北日本営業所

□酒田工場  
〒998-0064 山形県酒田市大浜1丁目2番14号  
TEL 0234 (33) 8811 FAX 0234 (33) 1371

#### ■北陸営業所

〒945-0851 新潟県柏崎市新橋11番14号  
TEL 0257 (20) 6433 FAX 0257 (20) 6470

#### ■西日本営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原5丁目1番18号  
新大阪サンアールセンタービル2F  
TEL 06 (6397) 5249 FAX 06 (6397) 9681

#### ■九州営業所

〒816-0805 福岡県春日市千歳町1丁目1番1号-704  
TEL 092 (574) 7025 FAX 092 (574) 7061

#### — お問い合わせ先 —

(株)テルナイト本社 環境部 TEL: 03 (3377) 9326 FAX: 03 (3320) 8961  
<http://www.telnite.co.jp>